



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2022年2月4日

大阪市立大学

ハイブリッド開催！

第9回 大阪市立大学地域連携発表会

ラストイチャダイ-未来につなぐ地域連携-

大阪市立大学地域連携センターは、2022年3月10日（木）に地域の魅力創出や課題解決に向けた取り組みを広く学内外に紹介する「第9回大阪市立大学地域連携発表会 ラストイチャダイ-未来につなぐ地域連携-」を開催します。

本学は、都市・大阪を背景とした市民の大学として、設立当初から教育・研究に加えて地域社会への貢献を本来の使命と位置づけて様々な取り組みを行なってきました。

2013年には地域貢献機能を組織的に遂行するために地域連携センターを開設し、全学的に地域貢献に取り組む姿勢やその実績に高い評価をいただきました。

新大学の開学を目前に控え、地域連携センター9年間の歩みを総括し、官学連携や教職協働の実績や課題についてお話しするほか、これからの地域連携に向けた取り組みをご紹介します。教員からの事例報告に加えて学生発表や座談会も行い、情報共有・意見交換の場として地域連携の活性化を考えます。

ハイブリッド開催のため、現地での直接の交流のほか、どこからでもオンライン参加が可能となります。ぜひ皆さまに広くご周知いただきますようお願いいたします。



オンラインの様子（2021.3開催）



会場開催の様子（2019.3開催）

- 1 開催日時 2022年3月10日（木）12時30分～16時00分
- 2 開催方法 ハイブリッド開催
会場参加（大阪市立大学文化交流センター）またはZoomによるオンライン参加
- 3 対象 地域と大学の連携に関心のある方ならどなたでも
- 4 参加費 無料 ※オンライン参加には通信機器およびインターネット接続が必要です
- 5 定員 会場参加 56名、オンライン参加 50名（いずれも先着順）

6 プログラム概要

■地域と関わりのある本学学部生・大学院生による取り組み発表（6組）

（研究・調査部門）

- ・ 3D レーザースキャナーを用いた遊郭、妓楼建築の図面作成
- ・ 「堺市消防局まちかど AED」設置場所と CPA 発生地点の分布からみた AED アクセシビリティ
- ・ 研究で、貢献していく一地域貢献に繋がる人口分析や地域調査の方法の検討と実践

（活動部門）

- ・ 持続的に行うグローバルヘルスー子どもが健やかに育つために大人にできることー
- ・ 地域社会を繋ぐ大学生の子育て応援とは
- ・ 大崎だより 一和歌山県海南市下津町大崎におけるガイドブックづくりー

■地域連携事例発表（3件）

（1）大阪市役所・区役所との共同研究・受託事業などを振り返って

発表者：水内俊雄（大阪市立大学都市研究プラザ教授）

（2）市大型地域連携教育の総括 ーCR 副専攻における PBL 型演習の実践を中心にー

発表者：天野景太（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）

（3）城東区・今福地域活動協議会、今福プログラミング教室での講演の事例について

発表者：高田洋吾（大阪市立大学大学院工学研究科教授）

■事例発表者との座談会

■学生発表 表彰式 など

※プログラム詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/4c/4cforum2021/>

7 申込方法 QR コードまたは下記リンクより WEB フォームにてお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/MWS6EGrJ7x>

申込締切：2022年3月7日（月）17:00



8 主催 大阪市立大学地域連携センター

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学地域連携センター 担当：大石

TEL：06-6605-2068 FAX：06-6605-3183

E-mail: sharen-chiiki4c@list.osaka-cu.ac.jp

第9回

大阪市立大学地域連携センター

地域連携発表会

ラストイチャダイー未来につなぐ地域連携ー

日時

令和4年3月10日(木)

12:30~16:00 (受付12:00~)

地域と大学の連携に関心のある方なら
どなたでもご参加ください!

ハイブリッド
開催

会場

大阪市立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第2ビル6階)
またはZoomによるオンライン

2022年4月、地域連携センターは新たな第一歩を踏み出します。新大学の開学を目前に控え、大阪市立大学地域連携センター9年間の歩みを総括し、官学連携や教職協働の実績や課題についてお話しするほか、これからの地域連携に向けた取り組みをご紹介します。また、本学学生もそれぞれの活動のポスター発表を行います。この機会に、教職員・学生との情報共有・意見交換の場に参加し、地域連携のさらなる活性化を考えてみませんか。

申込方法

注意事項を確認のうえ、下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/MWS6EGrj7x>

申込締切 ▶ 令和4年3月7日(月)17:00

定員(先着順) ▶ 会場参加:56名 オンライン参加:50名



会場アクセス



注意事項

- お申し込み後24時間経っても申込完了メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
- 裏面にある地域連携事例の概要から座談会で参加するグループを選択し、申し込んでください。当日事例を聞いて変更することもできますので、その際は事務局までお知らせください。
- 新型コロナウイルスの感染状況により全面オンライン実施等、内容を変更する場合があります。

※申し込みの際にお伺いした個人情報は受講者名簿として適切に取り扱うとともに、発表会の事務連絡やイベントのご案内に使用します。利用目的以外には一切使用いたしません。

問い合わせ ▶ 大阪市立大学地域連携センター TEL:06-6605-2068(平日9:00~17:00) E-mail:sharen-chiiki4c@list.osaka-cu.ac.jp

主催 大阪市立大学地域連携センター



2022年4月、大阪市立大学と大阪府立大学を母体に
新たな公立大学が誕生します



第9回地域連携発表会 プログラム



12:30～
12:35

開会挨拶

12:35～
13:25

学生発表

地域と関わりのある本学学部生・大学院生が研究・調査部門と活動部門に分かれてそれぞれの取り組みをご紹介します。

発表タイトル及び発表者

研究・調査
01

3Dレーザースキャナーを用いた
遊郭、妓楼建築の図面作成
工学研究科前期博士課程1年/
建築計画・構法研究室 布施和樹



活動
01

持続的に行うグローバルヘルス
一子どもが健やかに育つために
大人にできることー

医学研究科博士課程4年/雲の上はいつも晴れ 高田勝子



研究・調査
02

「堺市消防局まちかどAED」設置場所と
CPA発生地点の分布からみた
AEDアクセシビリティ
文学部人間行動学科地理学教室4回生 伊藤航



活動
02

地域社会を繋ぐ
大学生の子育て応援とは

文学部3回生/親子カフェおそら 阿部真衣奈



研究・調査
03

研究で、貢献していく
ー地域貢献に繋がる人口分析や
地域調査の方法の検討と実践
工学研究科前期博士課程2年 小本修司



活動
03

大崎だより ー和歌山県海南市下津町
大崎におけるガイドブックづくりー

工学部3回生 石黒陽菜、生活科学部3回生 東海林久乃、
商学部3回生 野田夢乃



13:25～
13:35

参加者投票

13:35～
13:55

本学教員による地域連携事例発表

事例発表:1

「大阪市役所・区役所との共同研究・受託事業などを振り返って」
講師:都市研究プラザ 教授 水内俊雄

市大で26年間に在職中に、思い出深いいくつかの共同研究・受託事業において、市役所・区役所との連携の成功・失敗・裏話など、いくつかのポイントを提示しながらお話しし、大学と市役所・区役所連携の教職協働も含めた振り返りと今後へのサジェスションとさせていただきます。関連事業:ホームレス調査(1998-99、健康福祉局)、西成特区受託事業(2013-、西成区)、ビッグデータ分析事業(2016、福祉局)、空き家と地域福祉の連携事業(2018-、住之江区)など



事例発表:2

「市大型地域連携教育の総括 ーCR副専攻におけるPBL型演習の実践を中心にー」
講師:文学研究科 准教授 天野景太

この発表では本学における地域との連携に基づいた、あるいは地域の協力を得つつ展開した教育活動について、主にCR(コミュニティ再生)副専攻における学部横断的、課題発見的な事例を中心に紹介します。地域のガイドブックやハザードマップづくり、都市周縁部や中山間地域におけるオーラルヒストリーの記録、地域ブランド化を目指したレシピの提案など、学生が地域の現場で格闘し成果を導いていく学びの可能性を展望します。



事例発表:3

「城東区・今福地域活動協議会、今福プログラミング教室での講演の事例について」
講師:工学研究科 教授 高田洋吾

将来、森之宮にキャンパスを開学する大阪公立大学に、非常に距離的に近い城東区今福において、今福地域活性化とともに子どもたちへのプログラミング学習を進める今福地域活動協議会から大学連携支援の依頼があり、「泳いで!飛ばして!くっついて!おもしろロボット!」の題目で子どもたちや保護者達を対象に講演会を行いました。また、その後の話し合いの場などで、今福地域が持つ課題について見聞したので、事例説明とともに報告します。



14:35～
14:40

休憩

14:40～
15:40

座談会

15:45～
16:00

学生発表表彰式・閉会挨拶

